学校番号	T1206

令和８年度　　工業科

教科	工業	科目	総合ものづくり実習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

ものづくり活動を通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する実習である。
授業は自動車工場を中心に行うが、適宜その他工場でも行うことがあるので教科担当の指示を良く
聞いて授業に参加すること。
実習系授業では、実習服を着用し安全靴や運動靴のように足を保護できるものを履くこと。
評価は学習態度、実習成果、レポートなどで総合的に評価する。

２ 学習の到達目標

総合ものづくり実習において、基礎・基本・知識を身に付け、様々な課題制作に取り組むことにより、問題解決力や発想力、技術・技能および機器の活用法を学習し、実社会における「ものづくり」の意義や役割を理解させるとともに、環境及びエネルギーに配慮しつつ、工業技術の諸問題を主体的、合理的に、解決し、工業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。
a:学習内容に関する基礎・基本・知識を身に付け、課題解決のための技術や理論・役割を理解する。
b:学習内容が実際の現場や社会に与える影響を考察し、解決に向け条件を導き出せる能力を身につける。
c:学習内容の関連に関心を持ち、意欲的に取り組む姿勢を身につける。

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	「ものづくり」を行う課程において、目標達成に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、機器の原理や使用方法を理解し、その技術を適切に活用している。	作品完成のため、技術に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	作品の完成をめざして主体的に取り組もうとするとともに、目的完遂のための実践的な態度を身につけようとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	陶芸の基礎（作品制作）	実習安全	a:学習内容に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、課題解決のための技術と理論の意義や役割を理解している。 学習内容に関する技能が身についていて、適切に活用できる。 b:学習内容が実際の現場や社会に与える影響を見い出し、その解決に向け条件設定する能力が身に付いている。 c:学習内容の関連に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	作品 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ	作品 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ	学習観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ
		菊練り				
		手轆轤				
		電動轆轤				
		コップの制作				
後期	陶芸の基礎（作品制作・絵付け）	素焼き	a:学習内容に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、課題解決のための技術と理論の意義や役割を理解している。 学習内容に関する技能が身についていて、適切に活用できる。 b:学習内容が実際の現場や社会に与える影響を見い出し、その解決に向け条件設定する能力が身に付いている。 c:学習内容の関連に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	作品 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ	作品 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ	学習観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題ﾚﾎﾟｰﾄ
		絵付け				
		釉掛け				
		本焼き				
		作品制作				

※ 表中の観点について　a：知識・技術　　b：思考・判断・表現
c：主体的に学習に取り組む態度